

私は日本に留学してから学業を支えるために、焼肉屋、工場、新聞配達などのさまざまなアルバイトをしてきました。今の自分が学業に専念できるのは皆さんのような日本全国のロータリアン一人一人がコツコツ貯めて、米山記念奨学事業に寄付したお陰です。本当に感謝しています。自分は運よく奨学生に選ばれましたが、これからは自分ができることから、少しでも社会奉仕をしていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。ご静聴ありがとうございました。

<職場訪問を振り返って> 小塚職業奉仕委員長

みなさん、こんにちは。先週職業奉仕というところで行ってきたわけですが、横須賀の海軍基地というアイデアが浮かんだときは当初7割くらいの勝算はあったのですが、日が近づくにつれ心配が募りました。というのは北朝鮮が核実験をやるという情報はありませんでしたし、横須賀の原潜から放射線漏れがあったということが少し前にありましたので、今回は最後の最後まで心配でした。見学にあたっては横須賀商工会議所事務局の井上さん、基地中の小林さんがよく動いてくれ、またイージス艦の艦長さんがいろいろと融通をつけてくれました。あそこまで内部を見せてくれたのは本当に感謝しております。今回何を見ていただきたいかったかというところ、アメリカの海軍の方々と商工会議所を中心とした横須賀の市民グループの家族的な関係というか、心が通じたコミュニケーションが横須賀においては成り立っているんだということです。コミュニケーション力が今回の見学会を成功させたのではないかと思います。家族的なおつきあいをして米軍の基地があそこにあることの意義をお互いに確認しあっているのではないかと。日米安保についてはいろいろご意見もあるかと思いますが、少なくとも戦後61年目になってこの関係が一応機能しているという部分が垣間見えたと感じました。こういう企画をしてよかったとほっとしております。それぞれ思うことはあるでしょうが、そういう意味においてはいい職場訪問だったかと思えます。ありがとうございました。

